

仙台経済界

2020
3-4月号

定価 690円

職場環境
テレワーク
意識改革
労務時間
生産性向上 etc

成長企業の働き方改革の

住宅団地の明日／せんだい自遊人クラブ

【レポート】1100室供給見込み！仙台のビジネスホテル

【レポート】アーケード商店街のWi-Fi事情

震災復興

22年完成へ温泉掘削開始、着工へ

仙台的深松組 藤塚地区防災集団移転跡地の複合施設

深松組（深松努社長）が、仙台市若林区藤塚の東日本大地震被災仙台市防災集団移転跡地に建設計画を進めている複合施設「アクアイグニス」（仮称）の温泉掘削工事の安全祈願祭



深松組 深松努社長

が1月24日現地で行われ、同日29日から掘削工事に入り、事実上着工した。2020年6月頃まで地下1000メートルまでの掘削工事を行う。

アクアイグニスは、仙台市の防災移転跡地活用事業として公募選定された。レストラン、農園、温泉などの複合施設。敷地3万4000平方メートル、農園レストラン、ベーカリー、地元食材のマルシェ、物販、温泉棟など6棟を建設、延べ計1万平方メートル。温泉棟は高さ16メートル、3階建てで、津波発生時は

避難場所として使用される。

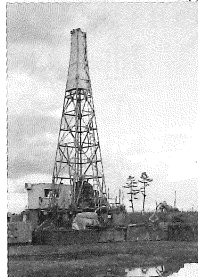
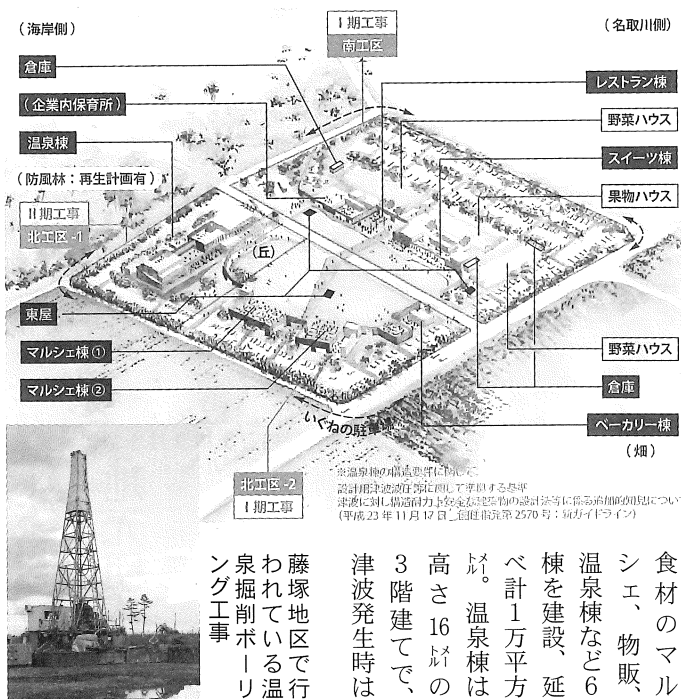
設計はARTS設計（三重県）、施工は深松組で、木造部分などを中心に杜の都建設協同組合が施工に参加する。完成は22年春を予定、年間100万人の来場を予定する。総事業費は30億円で、20年春までには七十七銀行を中心に金融団を形成する。

事業と運営は、同社を中心として設立した仙台reborn

（深松努社長）が行う。

安全祈願祭には深松社長のほか掘削工事の熊谷茂一東北ボーリング社長、仙台市、宮城県、地元町内会関係者ら40人が出席、玉ぐしを奉てんして工事の安全を祈った。

深松社長は、開発に至った経緯を話した後、「アクアイグニスとして東日本の施設となる。食材や200人以上の雇用も含め、地元に貢献したい。今後は、東北エリア交流施設協議会とともに、藤塚地区をはじめ、被災した沿岸部の地元にながわいを創っていききたい」とあいさつした。



II期工事 北工区-2
I期工事
藤塚地区で行われている温泉掘削ボーリング工事

企業表彰

未来企画が大賞受賞！

仙台「四方よし」企業大賞

2019年度仙台「四方よし」企業大賞の審査・表彰が1月28日、青葉区にある仙台国際センターで行われた。「四方よし」とは「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」「働き手よし」を集めた造語。仙台市らが主催し、地域できらりと光る「四方よし」企業を広く知ってもらいたいという思いから、2016年から毎年同大賞の表彰を行っている。



受賞者にはそれぞれ賞金と副賞が贈られた

今回、ファイナリストまで残ったのは3社（他に1社特別賞）。1社当たり6分の持ち時間で、自社の「四方よし」事業をプレゼンし、「本業を生かした地域貢献や社会的課題解決」「従業員が働きやすく、イキイキと活躍できる魅力的な職場づくり」の2点をポイントに審査された。厳正な審査の結果、見事大賞を受賞したのは、介護と保育園事業などを手掛ける㈱未来企画（若林区）。同社では、介護事業として小規模多機能ホームや居宅介護支援事業所の運営などを行っており、これらの介護事業所を入居者だけではなく、地域の住民にも開いているのが大きな特徴。また、従業員に対しても子育て出勤や、企業主導型保育所の運営、専門性に基づいたさまざまな働き方を実施している。

未来企画の福井大輔代表取締役は「福祉事業というのは本来、四方よしでなければならぬ。まずはスタッフの幸せが一番、そこを突き詰めて良い福祉ケアを行っていきたい」と喜びの言葉を述べた。優秀賞は、㈱関・空間設計（青葉区）、㈱深松組（青葉区）がそれぞれ受賞した。また、観客の投票により決められるオーディエンス賞に

は廃棄予定の着物からアロハシャツを作成する㈱サムライアロハ（太白区）が受賞した。同社は特別賞とのダブル受賞となった。大賞には賞金50万円（優秀賞は30万円）が贈られたほか、副賞として企業PRコンテンツ（動画など）の作成支援などが提供される。なお、20年度からは、これまでの一般公募を改め、「仙台『四方よし』宣言企業」から募集し、2年に1度の開催に変更となる。応募手続きは仙台市ホームページにて。

.....